

地域防災訓練に参加して

このように私たちが日頃からできる災害への対策はたくさんあります。万が一、災害が起きた時、自分がいつどこで何をしているかは誰にも分かりません。そんな時、慌てず冷静に適切な行動をするために地域防災訓練などに参加して何度も練習しておくことはとても大切だと思います。

笹丸は今年創立90周年

区切りのよい創立90周年では、地域や自治会の変遷と現状を示す写真や図版等の展示会、過去と未来を語る座談会、できれば区長を囲む会など会館を活かした行事や笹丸自治会史の増補改訂版の刊行など、身の丈に合った笹丸らしい記念事業をしてもらえたらというのが会長を退いた私の勝手な初夢です。

マイプレイス

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

新年でも西年（ニワトリ）は一番にコケコッコと鳴く鳥で縁起が良いとか？平成二十八年いろいろありました。マイナンバーカードの実施。四月の熊本地地震。八月・天皇陛下生前退位のご意向。リオデジャネイロオリンピック・パリオリンピックで日本選手が大活躍。熊本地震の被災地では台風十号の大雨や阿蘇山の噴火と被害も重なり、十月には鳥取で震度6弱の地震もありました。東京では築地市場から豊洲市場への移転問題。2020東京オリンピック競技場問題。またアメリカではドナルド・トランプ氏が次期大統領にと西年の課題がいっぱいです。皆様にとって良い年でありますように！

（東雪 西本頼雄）

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
 (1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお／10月・もみじ号／の1日発行)
 [発行日] 平成29年(2017年) 新年号 1月1日(通巻・第105号) 発行
 [発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]「ふれあい雪谷」編集委員会
 [連絡先] 雪谷特別出張所
 〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

春風のことを指す」

刻字
上池上 田上潤一さんの作品



民生委員は皆さんと共に



私たち雪谷地区（雪谷特別出張所管内）民生委員児童委員は33名。うち主任児童委員が2名という構成で地域の皆様の見守りをさせていただいています。

私の住んでいます南雪谷は1丁目から5丁目まで5名がそれぞれの地域を担当しています。東急池上線雪谷大塚駅の東側一帯に商店街とその周りを住宅街が囲むように出来ています。商店街はかつての庶民的な賑わいは姿を消し、大型のマンション建設に伴いスーパーマーケットにとって代わってしまいました。

私たち民生委員児童委員の関わる役目には高齢者のこと、子ども達のこと、子育てへの支援、生活困窮者、障害を抱えている方のことがあります。中でも一人暮らしの高齢者の見守りは大きな仕事となっています。

年末年始と夏の（熱中症）一斉安否確認、一人暮らし高齢者調査、理美容券の配布、寿祝い金の配布など年間行事の他に個別の関わり、見守りを続けています。少しでも多くの皆さんと顔見知りになることで情報を得ることも仕事の一つと思います。近所の方の通報は、その内容によっては他の民生委員とも連携して事に当たります。必要に応じて公的関係機関へも繋がります。また南雪谷自治会にも所属をすることにより、地域の行事にも参加してこの街の事情を把握、顔をつなぐことでより良い街づくりを心掛けています。この街の事情通である商店街の方々には何かとご助力を頂くことがあります。「この先の〇〇さんこのところ顔を見ないけどどうしたんだろうね」とか学校帰りの子ども達に「お帰り」と声をかけて下さり、何でもない普通のことが自然に出来る方がいることはとても心強いことです。



今の時代は大家族で暮らしている人は数少なく、核家族という言葉が聞かれるようになってから久しい中、一人親世帯という言葉が多く聞かれるようになりました。このように人の生活環境もどんどん変わり、家族の形も様々となり、気になってくるのが子どもの問題です。子ども達の環境が悪くなっているわけではありませんが、ちょっとした変化に誰かが気づいて声をかけてあげていたらと思える不幸な事件が起きています。近所付き合いの希薄な都会生活ではありますが、自治会がその一役を担っていると思います。私たちは子どもたちを知る為に小学校、中学校の行事にはなるべく参加するように心がけ、校長先生のお話を聞き主任児童委員と共に連携して事に当たるよう活動を続けています。小学校の放課後の子ども達の居場所として児童館（南雪谷）が一役を担っています。私たちも児童館のすくすくネット会員として参加しています。時間の許す限り行事に参加したりお手伝いをしたりして、顔の見えるつながりを持つ努力をしています。3歳未満のお子さんを持つ子育て中の若いお母さんとも触れ合えるひと時です。放課後の子どもの居場所作りに、保育所への待機児童の問題も対策が進められています。先ずは子どもの幸せを優先して欲しいと思うのは私だけでしょうか。



12年経って思いますことは、地域の目が一番大切なのではということです。そして私たちも日々変わりゆく時代を捉えながら活動を行かなければなりません。
(南雪谷 橋爪敦子)

民生委員制度は今年で 創設100周年を迎えます！

田園調布消防団第八分団



東京都内には九十八の消防団があり、このうち二十三区内には五十八の消防団があります。消防団員は、それぞれの職業に就きながら地域で活動しています。私たち田園調布消防団第八分団は上池台一丁目から四丁目までを受け持っており、団員は男性二十名・女性六名の計二十六名で活動しております。火災時の消火活動だけではなく、お祭りでの安全管理や防災訓練のお手伝い、AEDを使用した救急技術の発表など活動もしております。

これらの消防団活動の中で二〇一六年特に力が入ったのがポンプ操法大会です。台車に載せた可搬ポンプからホースで水を送り、火点に見立てた的に対し消火活動を行うものです。六月に多摩川清掃工場駐車場にて行われた田園調布管内の大会では、九つの分団が日頃の成果を競って戦い、我々はこの大会で前年に引き続き優勝することができました。二連覇です。更に今回は優勝分団として都大会への出場権を手にし、十月には渋谷区の東京消防学校に於いて開催された第四十六回東京消防操法大会では第三位と喜ばしい成績を収めることができました。

まだ肌寒さを感じる春から始まり、制限のため水を使えず空のホースで練習をした夏、そして大会が終わるともう秋の気配。七ヶ月に及んだこの訓練期間、近隣の皆様には毎週の練習でご不便をお掛けしたこともあったかと思えます。「ご苦労様」「頑張ってるね」と応援して下さいました。本声に疲れた身体も元気づけられました。本当にありがとうございます。地域の皆様のご理解に感謝申し上げますとともに、本年もご支援いただきたくよろしくお願い申し上げます。

(小池 田園調布消防団
第八分団分団長 山下雅夫)

ESDの推進と授業改善



本校は、平成22年度以降、計4年間、大田区研究推進校として、ESD研究を行いました。研究の骨子になっていたものが、地域の教育力を積極的に学校教育に取り入れる視点です。

この研究実践から生まれた環境教育、防災教育、国際理解教育、生命教育は、大森六中の特色ある教育活動として根付き、自尊感情、規範意識に優れ、奉仕の心を身につけた生徒の育成へとつながってきました。

しかし、不幸にも研究の最中に毎年修学旅行で訪れている東北に大震災がありました。この国に再び光を掲げる人材を輩出するためにも、持続発展教育は必要である、このことを深く胸に刻み、大森六中はユネスコ・スクールとして実践を発展させてまいりました。

去年は、2年間にわたる国立教育政策研究所指定校としての研究成果を発表致しました。

研究テーマは「ESDの推進及び授業改善」です。授業改善のアプローチ方法として、「思考力」、「コミュニケーション力」、そして、他者との協調、つながりの尊重、進んで参加する等の「態度」の育成を主眼としたアクティブラーニングを取り入れた指導過程、指導形態の工夫を各教科で行い、その検証を行ってきました。

このことにより、生徒の自己肯定感、そして学力が公的な各種調査の分析において格段に向上したことは、ESDの有意性を証明する上で大きな指針を得ることができました。

本校の研究実践に対して、今後とも地域の皆様より一層のご支援、ご協力を頂きますよう、お願いを申し上げます。

(大森第六中学校校長 松尾廣文)

ESD 地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくことを身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のこと。

スポーツ都市宣言記念事業第33回大田区民スポーツまつり 雪谷地区9自治会スポーツまつりのご報告

平成28年10月9日（日）雪谷小学校にて雪谷地区9自治会スポーツまつりが開催されました。今回のスポーツまつりは、雨天の中での開催となりましたが、小さいお子さんから年配の方まで、900名を超える方に参加して頂きました。

優勝：池の台自治会 準優勝：笹丸自治会 第3位：雪谷石川台自治会

また今回は、大田区オリンピックパラリンピック事業として、元サッカー日本女子代表の加藤恵さんをごゲストにお迎えし、ドリブルリレーやミニサッカーゲームを行っていただきました。どちらも白熱した展開となり、大いに盛り上がりました。
参加・ご協力ありがとうございました！！

